

**連結会計システムの PLAN - DO - SEE**

～ 制度連結と管理連結の融合 ～  
出版記念セミナーのご案内

拝啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、表記のセミナーを開催いたしますのでご案内申し上げます。

会計ビッグバンの下、連結会計制度が改正され、その対応で多くの企業で連結会計システムを構築されてきたことと認識しています。しかしながら、制度連結には対応しているものの、連結経営に資するまでには至っておらず、連結キャッシュフロー計算書作成、決算早期化、月次連結、内部セグメント管理等の分野に、まだまだ課題が多いのが現状かと思えます。

当セミナーでは、これまでの連結会計システム構築の経験を踏まえて、管理連結まで視野に入れた連結会計システム構築のあり方をご紹介します。更には、三井金属鉱業株式会社にご協力いただき、実際の構築・運用事例をご紹介します。

連結会計業務、情報システム構築に携わるの方々のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

敬具

平成17年9月1日

*Hiro Business Solutions*

広川 敬祐

日時 / 場所 東京会場： 9月27日(火) 14時 - 17時(開場：13時30分)  
三井金属鉱業(株)大会議室(JR山手線大崎駅 徒歩2分)

大阪会場： 9月28日(水) 14時 - 17時(開場：13時30分)  
ヒルトンプラザウェスト8階(JR大阪駅 徒歩1分)

申込方法 添付申込書にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
また、インターネットのホームページによる申込みも受け付けています。  
(<http://www.hbs.gr.jp/events/2005/cons-book/index.htm>)

参加費  
無料

< ご紹介内容 >

➤ 14時 ~ 15時15分

「こうあるべき！ 連結会計システム」 公認会計士 広川 敬祐

- ・ 連結会計制度の変遷と現状
- ・ 制度連結と管理連結の要件
- ・ 連結会計システムの構築にあたって

15時30分 ~ 16時45分 事例紹介

➤ 三井金属鉱業(株)の連結会計システムの運用事例

(17年3月期：連結売上高4381億円  
連結子会社49社、持分法会社7社。)

- ・ 決算早期化と月次管理連結
- ・ 関係会社共通システムの構築
- ・ 連結ベースでのデータウェアハウス活用

実現されました！

30日以内の決算発表  
5営業日の月次連結  
セグメント別CF  
関係会社共通会計システム

(協賛：株式会社ユアソフト)

「連結会計システムの PLAN-DO-SEE」セミナーの申込

日時 / 場所

**<東京会場>**

9月27日(火) 14時 - 17時  
 三井金属鉱業(株)大会議室  
 (JR山手線大崎駅 徒歩2分)



**<大阪会場>**

9月28日(水) 14時 - 17時  
 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 8階  
 (JR大阪駅 徒歩1分)



問い合わせ 03(5437)8138  
 (株式会社 ユアソフト 鍋島)

(注) 会場へのセミナーの内容に関する問い合わせはご遠慮下さい。

----- 参 加 申 込 書 -----

F A X 03 - 5437 - 8141

東京会場に参加 ( )                      大阪会場に参加 ( )

会社名 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話 ( )                      F A X ( )

No	所属部署	氏名	メールアドレス
1			
2			
3			
4			

## 連結会計システムの PLAN-DO-SEE - 制度連結と管理連結の融合 -



著者：広川 敬祐  
監修：青山学院大学教授  
堀内 正博  
田中 正郎  
発行元：トムソンラーニング  
発売元：BNN新社  
¥2,200 (税込)

### 著者 広川敬祐のご紹介

1962年 大阪生まれ  
1983年 公認会計士第二次試験合格  
1984年-1987年 プライスウォーターハウスの  
1987年-1994年 アーサーアンダーセン  
1994年-1998年 SAPジャパン  
1998年 HBS設立

日本公認会計士協会東京会常任幹事  
(コンピュータ委員会担当)

### うれしいこと

- ・CF作成を自動化できること
- ・連結処理を一日で終わらせること
- ・経理の方がGWを休めること
- ・関係会社が楽になること
- ・担当した会社に喜んでいただけること

### - 目次 -

#### 第1章 連結会計の背景とシステム動向

1. 連結決算の要請
2. グループ間取引
3. グループ経営管理の要請
4. 連結会計制度の変遷
5. コーポレートガバナンスと連結会計の利用者
6. 連結会計システムの動向

#### 第2章 連結会計システムのPLAN

1. 連結経営管理サイクル
2. 連結会計業務要件
3. 連結対象範囲の決定
4. 制度連結への対応
5. 管理連結への対応
6. セグメント管理
7. 連結キャッシュフロー計算書
8. 制度連結と管理連結との融合
9. 複数会計基準への対応

#### 第3章 連結会計システムのDO

1. 関係会社からの報告
2. 残高繰越(開始仕訳)
3. データ収集と個別財務諸表の確認
4. データチェックと修正仕訳
5. 外貨換算
6. 内部取引の相殺消去
7. 未実現利益の消去
8. 税効果会計
9. 投資と資本の相殺消去
10. 持分法処理
11. 組替
12. セグメント情報
13. 連結キャッシュフロー計算書

#### 第4章 連結会計システムのSEE

1. レポート
2. 決算早期化対応
3. 情報公開

#### 第5章 連結会計システム構築上の留意点

1. システム構築投資金額
2. システム構築プロセス
3. ソフトウェアパッケージおよびコンサルタントの選び方
4. 推進体制
5. 連結会計システムの具備要件
6. 教育の重要性

### 連結会計システムの導入経験

- ・1990年 建設業(子会社10社)
- ・1991年 ガス会社(子会社約100社)
- ・1994年 石油会社(子会社約30社)
- ・1996年 商社(子会社約600社)
- ・1997年 製造業(子会社5社)
- ・1997年 製造業(子会社20社)
- ・2000年 薬品会社(子会社80社)
- ・2001年 食品会社(子会社約200社)
- ・2001年 電機メーカー(子会社約1000社)
- ・2002年 化学会社(子会社約40社)
- ・2003年 石油会社(子会社約50社)
- ・2004年 サービス業(子会社5社)

その他、総合計で約30社